

春夏秋冬

今国会では、5年で43兆円の防衛力強化の方針が掲げられ、財源をどうするかが問われた。

国に与える影響はどうか。日本がよいよ戦争できる国になったと、脅威を感じる国はないだろうか。

国からの攻撃的となってしまうのである。シェルトー整備財政支援、戦死傷者を想定した医療体制の重視、有事に備え血液製剤の製造、備蓄・食糧増産命令の法整備検討など、狂気に満ちた軍拡の実態。戦前を思わせる動きが急ピッチで進んでいる。

協会では10日、第4回理事会を開き、保険証廃止を撤回する運動、歯科診療報酬改善、日常診療経験交流会や安定的な収支の確立についてなどを協議した。

「各世代へのシームレスな歯科健診で予防を重視していくことは進めていくべきだ」、「患者や国民の負担を重くさせないような制度にすべき」などの意見があがった。

協会には10日、第4回理事会を開き、保険証廃止を撤回する運動、歯科診療報酬改善、日常診療経験交流会や安定的な収支の確立についてなどを協議した。

具体的には、注意義務を続けることが最も大事であり、それが最後はトラブルを未然に防止し、先聴取を行い(問診義務)、病状や予後、治療方法の提示、メリット・(弁護士 西晃)

東大阪・八尾・柏原地区

住民歯科健診



6月4日 花園中央公園(東大阪市) 健診の様子上・矢部氏、中・段野氏、下・中西氏

東大阪・八尾・柏原地区は4日、東大阪市民まつり会場で歯科健診を実施し、矢部あづさ・段野和茂・中西幹夫の各歯科医師と歯科衛生士3人が出務した。子ども28人、大人48人の、計76人が受診した。

市民まつりに訪れた家族連れや高齢者の口腔内を健診。歯や歯肉の状態をチェックし、一人ひとりの相談に丁寧に答え、子ども連れで受診した母は「とても助かった。義歯の不適合に悩

む男性は「いつもの先生でない先生に相談できてよかった」と安堵の表情を浮かべた。受診者には歯ブラシをプレゼントし、口腔ケアの重要性を訴えた。

小林裕次郎



新理事から

ひと言

枚方市で勤務をしております小林と申します。歯科保険医協会で、社保研究部員としてここ数年活動をさせていただいておりましたが、このたび協会理事を拝命することになり大変光栄に思っております。

第4回理事会報告

しっかりとしたシステム構築を

協会では10日、第4回理事会を開き、保険証廃止を撤回する運動、歯科診療報酬改善、日常診療経験交流会や安定的な収支の確立についてなどを協議した。

トラブルになる前に



歯科医院における医療事故・トラブルを防止するための法的基本知識、医療事故等を回避するための心構え・事前の対策について、弁護士に解説してもらった。紙面で紹介する。(全10回連載・毎月25日)

注意義務違反とは

歯科診療で事故が発生した場合、医療機関や従事者はどのような場合に民事責任を負うのでしょうか。裁判などで使われる「注意義務違反」とは何なのでしょう。医療機関が負う責任にはどんなものが... 大きな医療事故や、次に述べる注意義務違反の程度が重い場合には刑事事件に発展したり、行政上の処分(免許取消や医療停止処分)を受ける場合もあります。多くの場合、民事上の(損害賠償)責任の問題になります。そこで以下では民事責任がどんな場合に発生するのか、について説明します。

具体的には、注意義務を続けることが最も大事であり、それが最後はトラブルを未然に防止し、先聴取を行い(問診義務)、病状や予後、治療方法の提示、メリット・(弁護士 西晃)